



**kat sunobu  
sayama**



令和3年**6月26**日(土)

から**7月25**日(日)

**二人の  
写真家**

**鈴木孝二  
佐山勝信**



**koji  
suzuki**



◇ 入 場 無 料 ◇

◇ 休館日 月曜日 ◇

◇ 開館時間 9時から17時

(最終入館16時30分) ◇

**三島町交流センター山びこ**

〒969-7402 福島県大沼郡三島町大字名入字諏訪ノ上 418 電話 0241-52-2165

主催 三島町教育委員会 交流センター山びこ

◇ 『撮』 っておきのみしま町フォトコンテストに 全10回応募して下さった二人の三島町以外の写真など 写真家としての展示会を開催します ◇

katsunobu  
sayama

koji  
suzuki

# 二人の写真家

佐山勝信 鈴木孝二

佐山勝信 会津若松市在住

鈴木孝二 会津若松市在住

写真をはじめたきっかけ

姉の影響、天文学に興味があった姉の天体観測に使うカメラを借りて写し始めたのがきっかけです。私が小学校6年の時に60年に一度ジャコビニ流星群の発生時に姉と一緒に小学校（城西小学校）の屋上で星空を眺めた頃から星の動きに大変興味を持ち現在まで撮影しています。何年か前に会津若松市のフォトコンテストにて最優秀賞を頂きそれがコンテストに出品するきっかけになりました。ネットでフォトコンテストを検索して出品しております。年間約50か所位出品と年間約30作品入賞しております。

こちらの『撮』っておきのみしま町フォトコンテストもネット検索の結果です。

現在は読売民友フォトクラブ（YMPC）に在籍してまして年に1回作品展を郡山で行っています。塩川写真連名にも在籍し、個人的には今まで12回個展を開催いたしました。読売民友写真クラブで出品いたしました作品を多くの方に見て頂きたく個展を開催しております。

この度、三島町からお声が掛かり大変うれしく感じております。こちらの綺麗なギャラリーに私の作品が展示出来る事を感謝しております。是非、多くの方に作品を見て頂けるようお願い申し上げます。

奥会津を撮る

兎年に郡山で生まれた私は、「人生古来稀なり」を迎える年齢になりました。仕事で三島町に暮らした三年間、妻が人々の生活や四季それぞれの風景を三十一文字の短歌に詠んだその情景は昭和の時代に東京の写真家竹島善一先生の奥会津の写真集「蘇える記憶」の世界そのものでした。

退職と共に妻の紡ぐ短歌の世界を自分なりに写真に残しておきたいと、三島町に被写体を求め写真を撮り続けて早や10年、思いがけず当町より写真展の依頼が寄せられこの度、開催する運びとなりました。

写真展の作品は、レンズを通して奥会津の人々の顔や手の皺一本一本に、人生の苦難や喜びが刻まれており、そして、ここならではの風景や伝統行事などを選びました。

このような機会を与えてくださった関係者の皆様に深く感謝し、これからも奥会津の魅力を後世に伝えていきたいと思っております。

令和3年6月26日（土）から7月25日（日）

◇ 入場無料 ◇ 休館日 月曜日 ◇  
◇ 開館時間 9時から17時（最終入館16時30分） ◇

三島町交流センター山びこ

〒969-7402 福島県大沼郡三島町大字名入字諏訪ノ上 418 TEL 0241-52-2165

主催 三島町教育委員会 交流センター山びこ

◇ 『撮』 っておきのみしま町フォトコンテストに全10回応募して下さった二人の三島町以外の写真など写真家としての展示会を開催します ◇